

報告第 2 3 号

令和 6 年度一般財団法人宇治市福祉サービス公社事業並びに
決算の報告について

地方自治法第 2 4 3 条の 3 第 2 項の規定に基づき、令和 6 年度一般財団法人宇治市福祉サービス公社事業並びに決算について、別紙のとおり報告する。

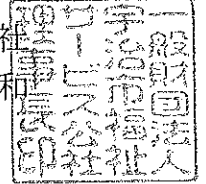
令和 7 年 9 月 1 8 日提出

宇治市長 松 村 淳 子

7 一財宇福公第 207 号
令和 7 年 6 月 24 日

宇治市長 松村 淳子 様

一般財団法人宇治市福祉サービス公社
理事長 栢木 利和



2024 年度（令和 6 年度）一般財団法人宇治市福祉サービス公社
事業報告書及び決算報告書の提出について

上記のことについて、一般財団法人宇治市福祉サービス公社の理事会及び評議員会において別添の通り承認されましたので報告いたします。

理事会議案第 1 号
評議員会報告第 1 号

「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2024 年度（令和 6 年度）事業報告書」について

一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2024 年度（令和 6 年度）事業報告を次のとおり報告する。

一般財団法人宇治市福祉サービス公社
理事長 塚 原 理 俊

令和 7 年 5 月 27 日 理事会 提出・可決
令和 7 年 6 月 20 日 定時評議員会 報告

2024 年（令和 6 年）度

事業報告書

一般財団法人 宇治市福祉サービス公社

2024 年（令和 6 年）度事業報告書 目次

I 事業計画の総括（事業方針と重点項目）

総括・重点項目実施状況	・・・・・・・・ 1
-------------	------------

II 理事会・評議員会等開催状況

（1）理事会開催状況	・・・・・・・・ 8
------------	------------

（2）評議員会開催状況	・・・・・・・・ 10
-------------	-------------

III 役員・評議員等名簿	・・・・・・・・ 11
---------------	-------------

IV 事業実績

公社独自事業	・・・・・・・・ 12
--------	-------------

介護保険事業	・・・・・・・・ 15
--------	-------------

障害者総合支援事業	・・・・・・・・ 20
-----------	-------------

宇治市受託事業	・・・・・・・・ 22
---------	-------------

I 事業計画の総括(事業方針と重点項目)

総括

2024年(令和6年)度は第9期介護保険事業計画初年度にあたると共に、医療・介護・障害福祉の報酬等が改定され、公社にとっては事業・経営面において大きな影響を受けることが予想された。

結果として公社発足以来、収入面では初めてとなる8億円の大台に達し、過去最高の収入を得ることができた。収入増の要因はデイサービスを中心に新規利用者の確保と稼働率アップに努めたことや、委託事業の拡充等があげられる。

一方、支出面については諸手当を増額する等の処遇改善を図ったことと、新規事業や欠員補充等で職員数が増えたこと、更に、国の最低賃金の引上げにより、アルバイト職員の時給を一律アップ等したことで、前年比で更なる人件費支出の増額となった。しかしながら、年度途中の職員の退職により欠員が生じている部署もあり、人材確保については依然として厳しい一年となった。

とりわけ職員の定着と育成が大きな課題であり、新人職員研修や産業医の協力の下、メンタルヘルス研修の開催や定期的なヒアリングの機会を設ける等、新人職員の定着化を図ると共に、職員全体には年間キャッチフレーズ「職員間の連携強化と公社の魅力発信～高めようコミュ力！深めよう相互理解！～」を掲げて、これらを実践するための行動指針を提示し、社内のコミュニケーションの活性化を図るための研修等に取り組んだ。

更に、各種委員会活動として「ES 向上委員会」での職員間の親睦・交流を図る取り組みや、「働きやすい職場環境づくり委員会」でのハラスメント防止に向けた職員アンケートや業務省力化・効率化に向けた各種提案や福祉機器展への委員派遣等にも取り組んだ。

対外的には令和6年7月に発足した「宇治市高齢福祉事業者等協議会」の事務局の役割を果たし、関係法人との定期的な意見交換を重ねた。課題となっている福祉の仕事の魅力発信、福祉人材の確保、育成を宇治市と共に各法人が団結してこれに取り組む方向性の確認ができた。

更に、宇治市担当課との定例協議を毎月開催し、協働パートナーである宇治市との連携強化を一層図った。

2023年(令和5年)度から2027年(令和9年)度までの「中期経営戦略計画」に掲げる達成すべき数値目標である、①財務目標に掲げた計画期間中の収支差額黒字額5,000千円以上、5ヵ年度総額25,000千円以上については、初年度、本年度で既に達成することができた。また、経営指標の改善目標である②人件費率についても、原則80%未満のところ、本年度は76.6%とし、こちらも達成することができた。

重点項目実施状況

2024年(令和6年)度の重点項目については以下の通り取り組んだ。

1. 宇治市の協働パートナーとして地域福祉の推進に寄与し、公社の存在価値を高める取り組み

- ① 市内在宅保健福祉サービスを手掛ける先駆的な法人として、「利用者本位のあたたかいサービスの提供」を実行する。

【結果】

- ・年度当初に職員を対象とした方針説明会を開催し、今年度の事業計画書、予算書について周知を図ると共に、令和6年度のキャッチフレーズである「職員間の連携強化と公社の魅力発信」を具現化するための行動指針を提示し、公社理念、倫理規則に基づく業務遂行の徹底を図った。
- ・CS 向上委員会を中心に介護保険部門でお客様満足度アンケート調査を実施し、更なるサービス向上に取り組んだ。

- ② 指定管理を受けている地域福祉センターを活動拠点として地域住民から公社は地域になくはない存在であることをアピールするため、関係団体との協働による地域密着型事業の取り組みを行う。

【結果】 *各事業所の地域密着の取り組み状況

◆中宇治事業所

- ・地域密着型事業として「中宇治ぼっぼガーデン」の管理をガーデニングボランティアや宇治支援学校の高等部の生徒と共に取り組んだ。
- ・月2回の事業所周辺の清掃活動を行い地域の環境美化に取り組んだ。

◆西小倉事業所

- ・地域福祉センターで開催された西小倉地区民生児童委員協議会主催の「輪投げ大会」を後援し、「福祉サービス賞」として賞品を提供した。その他、「敬老の集い」、「西小倉地域福祉まつり」、「西小倉地区新春祝賀会」等の地域の催しに参加した。
- ・宇治市生活支援体制整備事業の西宇治圏域の取組として昨年度から開催された「にしおぐら de おさんぽラリー」に今年度も事業所として参加した。スタンプラリーのゴール地点の地域福祉センターを会場に、ボランティアによる演奏や、西宇治体育館との共同事業として高齢者を対象とした肩こり・腰痛予防体操などを行い、延べ200名以上の来場者があった。
- ・西小倉コミュニティセンターで行われた防災訓練に参加し、西小倉デイサービスセンターで実施している垂直避難訓練の様子をパネル展示し、地域の方に洪水災害時の車いす利用者の避難方法などを周知した。

◆東宇治事業所

- ・デイルーム利用者数の増加を目的に映画鑑賞会を開催した。
- ・新型コロナウイルス感染症対策で長らく開催できていなかった近隣保育園との交流会を9月の敬老週間に合わせて開催した。
- ・12月に「ぼっぼクリスマスマルシェ」を開催し、地域住民等400名近くの来場者があった。
- ・黄檗中学校、木幡中学校より職場体験学習で合計5名の生徒の受け入れを行った。
- ・1月12日に京都大学気候変動適応研究センターの中北英一教授をお招きし、地域住民、地域福祉センター登録団体の参加のもと、防災セミナーを開催した。また1月19日には地元自主防災会と共同で、炊き出し等非常災害訓練を開催した。
- ・近隣の障害者施設の日頃の取り組みを紹介したパネル展示をセンター2階で行った。

◆広野事業所

- ・大開学区福祉委員会の配食事業に職員を派遣した。
- ・広野中学校生徒会の依頼により、福島ひまわり里親プロジェクトに参加し、ひまわりの種の販売に協力した。
- ・第1回管理運営委員会を開催し、地域福祉センターの現状と課題について協議し、利用者受入促進策について検討した。そのうえで地域包括支援センターが主催する小地域ケア会議のプレ会議に参加し、地域福祉センターとして意見をまとめて報告した。8月22日と12月12日には城南荘地域にある城南荘木曜カフェにてセンター事業のPRを行った。
- ・地域密着事業としては、11月1日に登録団体と宇治市との協働でスマートフォン講座初級コースを開催した。また、地域住民と共に非常災害訓練を11月19日に実施し、避難訓練と避難所体験を実施した。

- ③ 宇治市の協働パートナーとして宇治市担当課との定例協議を継続すると共に、これまでの先駆的实践を踏まえ、もうひとつの協働パートナーである宇治市社会福祉協議会をはじめとする市内関係法人等との連携強化のための調整機能を果たす。

【結果】

- ・宇治市担当課と定例会議を毎月開催し、連携強化に努めた。
- ・地域包括支援センター受託法人、宇治市社会福祉協議会と共に設立した「宇治市高齢福祉事業者等協議会」の事務局として計7回の幹事会開催に際して各種調整を行った。また、協議会として京都福祉専門学校との意見交換会や、海外からの人材確保について専門業者を招き研修を行った。

2. 介護保険事業等の収益事業の安定化を図る取り組み

- ① 介護保険法等改正の内容を踏まえて法令遵守に則りつつ、利用者ニーズに的確に応えていけるよう柔軟な発想でサービス提供を行う。

【結果】

- ・毎月2回の経営会議と月1回の係長会議を招集し、月々の経営状況の情報収集、共有を図ると共に、マンスリーレポートを発出し、経営状況の見える化に取り組んだ。

- ② 安定経営と処遇改善を両立するために、安定した収入を得られるよう、事業毎に達成すべき数値目標を設定する。

【結果】

- ・予算達成目標数値を部門毎に掲げ、月2回の経営会議、月1回の係長会議での確認と併せて、マンスリーレポートで予算目標と実績を職員に周知した。

- ③ 公社人材育成計画に則り、公社で働く職員が各々の専門性を遺憾なく発揮し、自信を持って業務にあたれるよう、社内教育・研修に取り組む。特に新人育成についてはメンタルヘルス対策も含めて万全を期する取り組みを行う。

【結果】

- ・新人職員を対象に産業医の協力を得てメンタルヘルス研修を実施した。
- ・研修計画に基づき毎月の研修テーマを踏まえて職員研修に取り組むほか、必要な外部研修に参加した。
- ・介護労働安定センター委託研修として、介護職、事務職を対象にコミュニケーションスキルに係る研修(NVC研修)を開催した。併せてNVCを職場に定着させるためのプロジェクト研修を開催した。

3. 中期経営戦略計画期間中(2023年度～2027年度)における重点施策への取り組み

- ① 障害者サービスの事業拡充について(ヘルプサービス係・障害者相談支援センター係)

昨年度実施した市内障害者相談支援事業者への聞き取りや障害部門における経営分析を踏まえて、引き続き障害者サービスの事業拡充のために必要な体制整備を図るよう努める。

【結果】

- ・昨年に引き続きセンター長会議においてプロジェクトチームとしての取り組みを継続し、相談支援事業と訪問介護部門での情報共有を行った。
- ・サービス提供責任者を対象とした、育児支援、ヤングケアラー支援の取り組み状況を踏まえた研修を実施した。更に、DOHOグループ(障害・高齢・医療部門)相談支援センターkokua(コクア)より担当者を招き、相談支援センターの連携や情報交換を行った。

- ② 居宅介護支援事業所の拠点集約化について(ケアマネジメント係)

昨年度中には結論を見出すことができなかったため、引き続き拠点集約化を進めるに当たって、課題整理等の検証作業を行うと共に、許認可権をもつ宇治市と引き続き協議を行う。

【結果】

- ・宇治市との定例協議の場でテーマとして掲げるが情報共有に留まった。京都府担当者に対して直接サテライト方式についての必要性を伝える機会があり、京都府としても見直しの時期にあるとの見解を確認した。

③ 効率的で実効性のある組織の再編について(事務局総務係)

昨年度事務局総務係内のプロジェクトで整理された課題に沿って引き続き業務見直しを行う。

【結果】

- ・令和6年度の人事異動に伴い、課題ごとに割り当てた総務係職員のペアを再編した。
- ・介護請求の事業所完結を10月から試行実施することを決定し、課題を洗い出した。
- ・ペアごとに相談・検討し、見直しできる事務は順次検討を進めた。
- ・人事担当職員が ICT 等の展覧会の視察を行った。

④ 多様な働き方と定年後の再雇用について(経営会議)

定年延長については昨年度方向性を示したので、職員の定着を図り、職員の年代ステージ毎に安心して働き続けられる労働条件等の整備を図る。

【結果】

- ・プロパーの定年延長について、62歳に引き上げる就業規則改正を第90回理事会に上程し可決を得た。
- ・アルバイト職員の定年年齢について、ヘルプサービス係を中心に77歳まで引き上げる規則改正を第93回理事会に上程し可決を得た。

4. 働きやすい職場環境づくりの更なる取り組み

昨年度「働きやすい職場環境づくり委員会」が行ったハラスメントに関する社内アンケートの結果も踏まえて、ハラスメント防止に資する取り組みに重点的に取り組む。

その為にも職員間の円滑なコミュニケーションを図れるよう、「ES 向上委員会」活動の活性化、係、業務を横断した研修の開催等に取り組む。

引き続き業務省力化、改善のための ICT 活用、介護機器導入についての検討を行う。

【結果】

- ・働きやすい職場環境づくり委員会を開催し、今年度の取組について業務軽減及びハラスメント対策の部会に分かれ活動した。
- ・事務軽減部会では部会長を ICT 等の展示会に派遣し、情報収集を行った。
- ・ハラスメント対策の部会ではアンケートを実施し、結果をとりまとめ職員に周知した。

5. 部門別重点項目

① 介護保険部門

「中期経営戦略計画」に位置付けられた、介護保険事業各部門において掲げられた目標及び年度毎の達成目標の完遂のため、各々必要な措置を講ずるとともに、四半期毎に成果を検証する。

【結果】

- ・月1回の係長会議の場で部門毎の取り組み課題について協議を行った。依然として各部門での人材不足(アルバイト職員、契約ヘルパー等)が続いており、現状の人員で工夫、調整しながら事業運営に当たってきた。
- ・単価改定の効果等もあり、第1四半期から昨年度よりも収入が増加し、年間を通じて実績をキープすることができ、前年度を上回る収入をあげることができた。
- ・依然として職員体制が脆弱な中であっても、各事業においては新規契約者の獲得に取り組み、昨年度実績を上回る過去最高の収入を維持することができた。
- ・係によっては人材不足が依然として続いており、引き続き人材確保が急務である。

② 障害者総合支援法部門

「中期経営戦略計画」の重点施策の一つに位置付けられている障害者サービスの事業拡充について、昨年度のプロジェクトでの取り組み内容を踏まえて引き続き取り組む。

【結果】

- ・昨年に引き続きセンター長会議においてプロジェクトチームとしての取り組みを継続し、相談支援事業と訪問介護部門での情報共有を図った。
- ・訪問介護における障害サービスの提供割合を増やす方策を検討し、介護保険と障害サービスの提供割合の目標値を定め、そのために障害ヘルプサービス専用のパンフレットを活用し、障害者相談支援事業所への営業活動等を行う報告を確認した。

③ 宇治市委託事業部門

宇治市の協働パートナーの立場を具体的に示す事業として、地域包括支援センターや介護予防事業をはじめとする市委託事業の受託は、公社の活動拠点である地域福祉センターの指定管理の維持継続も含めて重要な事業である。よって、中・長期の視点に立って担当課と定期的な協議の場を設定し、専門セクターの立場から積極的に市に提案を行う。

【結果】

- ・宇治市担当課と毎月定例会議を行い、連携強化に努めた。地域包括支援センター受託法人、宇治市社会福祉協議会との協議組織(宇治市高齢福祉事業者等協議会)の設立に向けて宇治市と共に調整を行い、協議会設立後は幹事会を開催し、事務局の役割を果たした。
- ・入門的研修事業を開催し、市民20名の参加を得た。

④ 公社独自事業部門

人材確保が困難を極める中、「ほほえみ介護塾」は重要な事業であり、引き続き質の高い研修が提供できるよう講師育成にあたり、ケアワークの技術の向上を図る。

その他、介護保険外サービス(ほほえみサポート)については派遣体制を年度内に見直す。

【結果】

- ・今年度のほほえみ介護塾は受講者10名を得て、6月24日より開講した。
- ・ほほえみサポートについてはホームヘルプサービス係に移行する予定であるが、ヘルプサービス係の管理体制上の課題があり、事業の再編については引き続き慎重に検討する。
- ・ほほえみ介護は10名の受講者全員が修了され、うち1名が契約ヘルパーとして入職した。

⑤ 事務局総務部門

「中期経営戦略計画」に位置付けられた事務部門の課題解決に向けて、まずは人事労務・給与・財務等の事務作業の効率化、処理能力の確実性を図るための業務見直しに努める。
併せて公社事務部門の、業務手順や経験の継承を中心に事務職員の育成にあたる。

【結果】

- ・令和6年度の人事異動に伴い、課題ごとに割り当てた総務係職員のペアを再編した。
- ・介護請求の事業所完結を10月から試行実施することを決定し、課題を洗い出した。
- ・ペアごとに相談・検討し、見直しできる事務は順次検討を進めた。
- ・人事担当職員が ICT 等の展示会の視察を行った。



【宇治市高齢福祉事業者等協議会設立記念事業】

Ⅱ 理事会・評議員会等開催状況

(1) 理事会開催状況

第87回 理事会〔2024年(令和6年)5月31日開催〕

議案第1号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2023年(令和5年)度事業報告書(案)」について
議案第2号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2023年(令和5年)度決算報告書(案)」について
議案第3号	「定時評議員会(第31回評議員会)の招集及び提出議案」について
議案第4号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 理事、監事及び評議員の報酬及び支給の要件並びに費用弁償に関する規則」の一部改正について
報告第1号	「理事長等執務報告」について
報告第2号	「中期経営戦略計画初年度の達成状況及び2024年度計画」について
報告第3号	「宇治市社会福祉法人等連携協議会設立」について
報告第4号	「2023年(令和5年)度 下半期事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第5号	「2024年度 夏季賞与、特別賞与の支給」について

第88回 理事会〔2024年(令和6年)8月8日開催〕

議案第5号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社被服貸与規程」の一部改正について
議案第6号	「リハビリデイサービスぽっぽ中宇治の土曜日営業開始」について
報告第6号	「理事長等執務動静」について
報告第7号	「2024年(令和6年)度第1四半期事業実績」について
報告第8号	「東宇治デイサービスセンター日曜日営業の再開」について

第89回 理事会〔2024年(令和6年)9月12日開催〕(みなし理事会)

議案第7号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
議案第8号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 支援員等の雇用に関する規程」の一部改正について

第90回 理事会〔2024年(令和6年)11月5日開催〕

議案第9号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員就業規則」の一部改正について
議案第10号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員給与規程」の一部改正について
議案第11号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員退職金規程」の一部改正について
議案第12号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 契約職員規程」の一部改正について
議案第13号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
報告第9号	「理事長等執務動静」について

報告第10号	「管理職の退職」について
報告第11号	「2024年(令和6年)度上半期事業実績並びに決算見込み」について
報告第12号	「東宇治デイサービスセンターの定員増」について
報告第13号	「2024年(令和6年)度上半期事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第14号	「冬季賞与の支給」について

第91回 理事会 [2025年(令和7年)1月30日開催]

議案第14号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
報告第15号	「理事長等執務動静」について
報告第16号	「2024年(令和6年)度第3四半期事業実績並びに決算見込み」について
報告第17号	「2025年(令和7年)度事業計画の概要」について
報告第18号	「正規職員等の基本給の引き上げ」について
報告第19号	「出産祝い金の創設」について

第92回 理事会 [2025年(令和7年)3月14日開催] (みなし理事会)

議案第15号	「第33回評議員会の招集及び提出議案」について
--------	-------------------------

第93回 理事会 [2025年(令和7年)3月26日開催]

議案第16号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社2025年(令和7年)度事業計画書(案)」について
議案第17号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社2025年(令和7年)度収支予算書(案)」について
議案第18号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 理事、監事及び評議員の報酬及び支給の要件並びに費用弁償に関する規則」の一部改正について
議案第19号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社職員就業規則」の一部改正について
議案第20号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社職員給与規程」の一部改正について
議案第21号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社契約職員規程」の一部改正について
議案第22号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社パートタイマー等規程」の一部改正について
議案第23号	「定年退職後再雇用者の基本賃金格付け及び賞与の支給に関する取扱要項」の一部改正について
議案第24号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社支援員等の雇用に関する規程」の一部改正について
議案第25号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社育児・介護休業規程」の一部改正について
議案第26号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社従業員紹介規程」について
報告第20号	「理事長等執務動静」について
報告第21号	「管理職人事」について
報告第22号	「2024年(令和6年)度決算見込み」について

(2) 評議員会開催状況

第31回 定時評議員会 [2024年(令和6年)6月20日開催]

議案第1号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2023年(令和5年)度決算報告書(案)」について
議案第2号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 理事、監事及び評議員の報酬及び支給の要件並びに費用弁償に関する規則」の一部改正について
報告第1号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2023年(令和5年)度事業報告書」について
報告第2号	「理事長等執務報告」について
報告第3号	「中期経営戦略計画初年度の達成状況及び2024年度計画」について
報告第4号	「宇治市高齢福祉事業者等協議会設立」について
報告第5号	「2023年(令和5年)度 下半期事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第6号	「2024年度 夏季賞与、特別賞与の支給」について

第32回 評議員会 [2024年(令和6年)8月8日開催]

報告第7号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社被服貸与規程」の一部改正について
報告第8号	「リハビリデイサービスぽっぽ中宇治の土曜日営業開始」について
報告第9号	「理事長等執務動静」について
報告第10号	「2024年(令和6年)度第1四半期事業実績」について
報告第11号	「東宇治デイサービスセンター日曜日営業の再開」について

第33回 評議員会 [2025年(令和7年)3月26日開催]

議案第3号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 理事、監事及び評議員の報酬及び支給の要件並びに費用弁償に関する規則」の一部改正について
報告第12号	「定年延長」について
報告第13号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社2025年(令和7年)度事業計画書」について
報告第14号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社2025年(令和7年)度収支予算書」について
報告第15号	「2024年度(令和6年度)収支決算見込み」について
報告第16号	「中期経営戦略計画2024年度(令和6年度)の進捗状況報告」について
報告第17号	「管理職の退職」について
報告第18号	「管理職人事」について
報告第19号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
報告第20号	「正規職員等の基本給の引き上げ」について
報告第21号	「出産祝い金の創設」について

Ⅲ 役員・評議員等名簿

(1)役員名簿【2025年(令和7年) 3月31日現在】

役 職	氏 名	備 考
理 事 長	塚原 理俊	有識者
副理事長	笹部 和男	弁護士
専務理事	田實 敬幸	前宇治市福祉サービス公社事務局長
理 事	有賀やよい	医師
理 事	五艘 雅孝	有識者
理 事	栢木 利和	有識者
理 事	星川 修	宇治市健康長寿部部長
理 事	小松美恵子	元小学校校長
理 事	平田 研一	認知症予防ネット理事長
理 事	原 保彦	宇治市社会福祉協議会副会長
監 事	池田 正彦	宇治東福社会監事
監 事	小林 幸大	京都銀行宇治支店長

(2)評議員名簿【2025年(令和7年) 3月31日現在】

役 職	氏 名	備 考
評 議 員	岡野 英一	京都ボランティア協会理事
評 議 員	石川 祐弘	宇治市連合喜老会副会長
評 議 員	神野 君夫	宇治久世医師会理事
評 議 員	吉田美恵子	宇治市民生児童委員協議会理事
評 議 員	須原 隆之	宇治市健康長寿部副部長
評 議 員	小松 一子	元大学教員
評 議 員	菊池ゆかり	山城福社会宇治川福祉の園施設長

(3)第三者委員名簿【2025(令和7年) 3月31日現在】

役 職	氏 名	備 考
委 員	山花 啓伸	
委 員	高田智恵子	

※介護保険事業・障害者総合支援事業の利用者等に対しての第三者的な相談・苦情窓口

公社独自事業

<定款第4条(1)> 在宅保健福祉サービスの調査研究、知識の普及啓発、相談等に関する事業

<定款第4条(2)> 自主的な在宅保健福祉サービスの提供に関する事業

<定款第4条(10)> 地域保健福祉に寄与する関係団体等に関する支援、助成事業



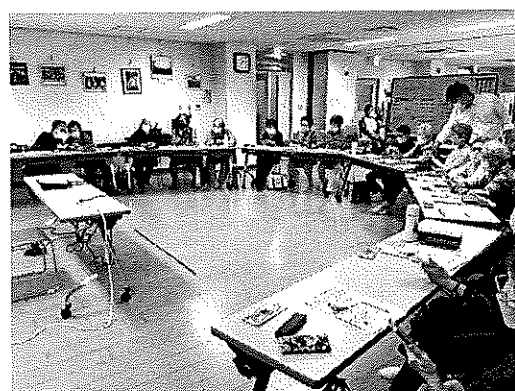
【ひがしうじぼっぽフェスタ】



【西小倉地域福祉まつりのパレード】



【城南荘地区のサロンにて地域福祉センターの啓発活動】



【企業とのコラボによるスマートフォン講座】

公社会員の状況

賛助会員	会員数	昨年度	備考
法人会員	25	22	1口 10,000円
個人会員	67	60	1口 1,000円

情報誌の発行

公社情報誌「ぽっぽ」(各2,500部発行)を公社会員や利用者、関係機関等に配布し、知識・情報の普及啓発を行った。

◆実績

第54号(2024年(令和6年)7月発行)

第55号(2025年(令和7年)1月発行)

情報の収集と提供

公社情報誌「ぽっぽ」、公社ホームページを活用して利用者・市民に向け、公社で実施する事業の情報、求人情報の提供を行った。

また、公社の広報活動に力を入れ、特に SNS(Instagram、Facebook、LINE 公式アカウント等)を活用した情報発信に注力した。

(各種 SNS のフォロアー数と投稿数)

公式 SNS	フォロアー数	投稿数	昨年度投稿数
Instagram	1,561	129	118
Facebook	516	13	47
LINE	124		
X(旧 Twitter)	229	4	15

介護保険外訪問介護サービス(自主サービス) 通称「ほほえみサポート」

介護保険法で対応できない家事支援等の利用者ニーズに対して、自主サービスとして実施した。

*通院介助、一時的な掃除・整理整頓、絵画教室等への外出介助、産後ケア終了後の家事支援等

◆実績

(ほほえみサポート)

	令和6年度	昨年度
実人数	17名(介護・障害・産後)	14名(介護・障害・産後)
派遣回数	158回	188回
派遣時間	194時間30分	228時間45分

(院内介助)

	ぽっぽひがしうじ	ぽっぽ	計	昨年度
実人数	4	4	8	10名
派遣回数	6	11	17	30回
派遣時間	11時間10分	21時間35分	32時間45分	80時間45分

福祉人材研修事業

1)ほほえみ介護塾

介護人材の確保が喫緊の課題となっている状況において、ほほえみ介護塾は自社での養成事業として重要な役割を持つ事業である。今年度は定員20名に対して10名の応募であった。

その内1名が公社への入職に繋がった。

◆実績

	令和6年度	昨年度
実施時期	8月28日～12月11日	-
受講者数	10名	8名
修了者数	10名	8名
入職者数	1名	1名

2)公社サービス利用者等リハビリサポート

リハビリ専門職が公社内外のデイサービスやケアマネジャー等からの依頼を受けて、サービス利用者へ運動指導や福祉用具を含む住環境改善等のアドバイスを行っているが、今年度は、中宇治地域包括支援センターからの11件の相談に対応した。

介護保険事業

<定款第4条(3)> 居宅介護支援、介護予防支援に関する事業

<定款第4条(4)> 訪問介護、訪問介護相当サービス、生活支援型
訪問サービスに関する事業

<定款第4条(5)> 通所介護、通所介護相当サービスに関する事業

<定款第4条(6)> 介護予防・日常生活支援総合事業に関する事業

居宅介護支援事業

要支援・要介護の方からの相談に応じて、利用者の希望や心身の状態等を考慮した、適切な在宅または施設のサービスが利用できるよう、各種サービス事業者との連携を図り、介護及び介護予防サービス計画の作成、サービス提供の確保を行った。

◆実績 ※一人当たり給付管理は、予防給付等(事業対象者・要支援1・2)については1/3件でカウント

	西小倉	東宇治	広野	中宇治	計	昨年度
介護支援専門員数	5名	4.8名(*1)	3.4名(*2)	5名	18.2名	17.5名
延給付管理件数	1,888件	1,992件	1,504件	2,459件	7,843件	7,604件
事業対象者	0	0	12	0	12	16
要支援1	78	99	111	299	587	661
要支援2	111	214	135	247	707	673
要介護1	814	880	604	1,017	3,315	3,238
要介護2	408	481	376	487	1,752	1,464
要介護3	244	198	100	276	818	835
要介護4	152	56	117	96	421	505
要介護5	81	64	49	37	231	212
一人当たり給付管理/月	29.4件	31.0件	32.6件	34.9件	31.9件	33.0件

(*1)東宇治事業所の介護支援専門員数は令和6年6月から1名増員したことから年間の平均値にて表記

(*2)広野事業所の介護支援専門員数は令和6年8月まで1名アルバイト職員のため常勤換算で表記

◆各事業所の特徴

【西小倉】年度途中より、介護支援専門員が1名増え、5名体制での業務にあたっている。

要介護3、4、5の給付管理件数が多く、全体の25%となっている。その為、デイサービス、ショートステイ、訪問看護など、単体のサービスの調整ではなく、複合するサービスの調整が多くなっており、多機関連携の重要性が増している。

【東宇治】介護支援専門員経験10年以上の主任介護支援専門員が3名在籍し、様々なケースを担当している。宇治市のケアマネジャー勉強会等を通じて、他法人の居宅介護支援事業所との連携に努めている。

【広野】年度途中にケアマネジャー2名が退職したため、同一法人内の居宅介護支援事業所への契約変更をお客様にご説明、ご理解を元をお願いをした。

【中宇治】公社内でのケアマネジャーの退職により、お客様を引き継いだことにより、利用契約者数が増えた。担当ケースについて一人で抱え込むことなく、チームで協力し合ってその時の最善策を考え対応するようにしている。

訪問介護事業(ホームヘルプサービス)

要支援・要介護の方に対して、ホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活を営むことができるよう、排泄・食事・入浴等の身体介護や、掃除・調理等の生活援助を行った。

◆実績

▼大帳

			ぽっぽ ひがしうじ	ぽっぽ	計	昨年度
＊ 介護 給付	身 体 介 護	延利用人数	404名	685名	1,089名	1,012名
		延派遣回数	5,370回	9,548回	14,918回	13,664回
	身 体・生 活	延利用人数	275名	328名	603名	543名
		延派遣回数	1,921回	2,646回	4,567回	4,129回
	生 活 援 助	延利用人数	426名	852名	1,278名	1,471名
		延派遣回数	2,402回	5,056回	7,458回	9,053回
＊ 予 防 給 付	予 防 介 護 I (週1回程度の訪問)	延利用人数	530名	206名	736名	788名
		延派遣回数	2,100回	760回	2,860回	3,084回
	予 防 介 護 II (週2回程度の訪問)	延利用人数	62名	79名	141名	169名
		延派遣回数	502回	655回	1,157回	1,369回
	予 防 介 護 III (週2回程度を超える訪問)	延利用人数	0名	0名	0名	0名
		延派遣回数	0回	0回	0回	0回
総合 事業	生活支援型訪問サービス (週1回程度の家事)	延利用人数	18名	53名	71名	88名
		延派遣回数	63回	210回	273回	315回
計		延利用人数	1,715名	2,203名	3,918名	4,071名
		延派遣回数	12,358回	18,875回	31,233回	31,614回

※介護給付は要介護1～5の方、予防給付は要支援1～2の方、総合事業は事業対象者・要支援の方を対象

◆各事業所の特徴

【ぽっぽ】令和6年度はヘルパーの年齢が平均年齢62.4歳でヘルパーの介護技術向上とやりがいを重視できるように選択的個別研修や同行訪問を充実させ、ヘルパーの満足度を高める取り組みを実施した。

【ぽっぽひがしうじ】退職者もなく、新たにほほえみ介護塾の卒業生一名が入職し24名のヘルパーとなった。上位資格取得を目指すヘルパーもあり、実践的な研修を中心に介護技術の向上を図ってきた。

通所介護事業(デイサービス)

要支援・要介護状態の方に対して、通所(送迎)による入浴、食事等の各種サービス、及びそれぞれのニーズに応じた介護、機能訓練等を提供し、利用者個々に満足してもらえるサービスの提供を行った。

◆実績

	西小倉		東宇治	広野	中宇治	計	昨年度
施設区分	通常型	認知症型	通常型	通常型	短時間型		
定員	25名	10名	25名	23名	30名	113名	113名
運営日数	361日	309日	309日	361日	283日		
延利用人員	8,164名	2,139名	6,477名	7,374名	5,692名	29,846名	27,846名
事業対象者	9	0	9	0	374	392	465
要支援1	145	0	71	138	2,719	3,073	2,333
要支援2	305	16	579	378	2,599	3,877	3,349
要介護1	3,771	379	2,463	2,173		8,786	9,732
要介護2	2,101	525	2,304	2,795		7,725	6,291
要介護3	998	859	825	1,046		3,728	3,051
要介護4	646	208	78	681		1,613	1,862
要介護5	189	152	148	163		652	763
1日平均人数	22.6名	6.9名	21.0名	20.4名	20.1名		

◆各事業所の特徴

【西小倉】通常型については、11月には96.00%(定員25名に対し、平均24名利用)と高い稼働率だったが、12月以降、インフルエンザの影響もあり、入院、中止するケースが多く、3月には84.38%まで落ち込んだ。4月～11月は高い稼働率だったこともあり、年間の稼働率は90.46%と90%台をキープできた。

認知症型については、12月に80.80%(定員10名に対し、平均8名利用)と高い稼働で、登録者数も26名と多くのお客様に来ていただいたが、1月以降インフルエンザや認知症状の悪化、家族対応の限界などがあり、入所や入院が増え、利用中止が続き、3月末時点の登録者数は21名まで下がった。年間稼働率は69.22%となっている。

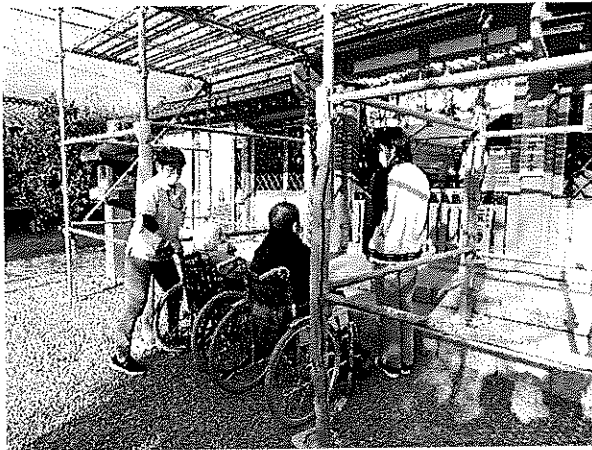
【東宇治】11月から12月にかけて、職員、利用者の感染症の蔓延が発生したものの、令和6年1月からの日曜日の休業、4月の生活相談員の体制強化もあり、年間稼働率も83.84%(昨年度64.87%)まで回復することができた。ただし、人材確保は依然として厳しく、特に介護職員の確保が課題となっている。

【広野】年間稼働率89%と目標数値より2%上げることができた。しかし、上半期の90%台から12月～2月は85%台に落ち込んだ。理由としては、入院や体調不良等が原因であった。3月から87%台

に回復している。介護度の高い利用者も多く(平均介護度2.1)、職員の業務負担を図るために特殊浴槽の導入を今後検討する必要がある。

【中宇治】月曜日から金曜日までの定員が埋まってきたため、10月から土曜日開催を開始したものの、年間の稼働率は67%台に留まった。

機能訓練に特化した要支援者対象の短時間型通所サービスであるが、80代後半以上の高齢者が多く、体調不良や転倒などによる入れ替わりにより定員が埋まりにくいことや、自己都合の欠席も多いことがあげられることから、参加意欲を高める工夫として、皆勤賞を作った。



【西小倉デイ・初詣の様子 宇治神社】



【リハビリデイサービスぽっぽ中宇治】

障害者総合支援事業

<定款第4条(7)> 障害者福祉サービスに関する事業

<定款第4条(8)> 障害児福祉サービスに関する事業



【在宅を支える公社のホームヘルパー 研修風景】

居宅介護事業(ホームヘルプサービス)

障害者総合支援法に基づき、対象の方に対してホームヘルパーを派遣し、可能な限りその有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう支援した。

◆実績

	東宇治	ぼっぼ	計	昨年度
実利用者数	30名	36名	66名	73名
派遣回数	5,192回	6,971回	12,163回	11,432回
派遣時間	4,741時間15分	6,043時間	10,784時間15分	10,359時間10分

移動支援

障害者総合支援法に基づき、対象の方に対してホームヘルパーを派遣し、外出のための移動支援を行った。

◆実績

	東宇治	ぼっぼ	計	昨年度
実利用者数	3名	2名	5名	6名
派遣回数	199回	3回	202回	355回
派遣時間	119時間15分	1時間30分	120時間45分	152時間30分

◆各事業所の特徴

【ぼっぼ】 利用者の多様なニーズに応えるべく、相談支援事業所と連携を図りながら支援を行った。ヘルパーからは心身の不調の訴えや障害特性を踏まえた対応できるよう研修の機会をつくり、対応できるようなスキルアップの意識をもって業務に臨んでいる。

【東宇治】 心身の変調をきたしやすい利用者については、相談支援事業所への報告、連絡、相談を綿密に行い、相互連携を大切にしながら対応してきた結果、実利用者数、派遣回数、派遣時間数共に昨年度を上回ることができた。

障害者相談支援センター

障害児・者、その家族が抱える悩みや困りごとについての相談をお受けし、一人ひとりが望む地域生活の実現のために、専任で3名(9月より2名)の相談支援専門員を配置してサービス等利用計画支援を行った。

◆実績

	サービス利用計画作成	昨年度
総件数	915件	757件
実人数	103名	83名

宇治市受託事業

<定款第4条(9)> 在宅保健福祉サービスに関する受託事業



【若い世代が登壇した第11回認知症フォーラム in 宇治】

訪問型事業

1)訪問指導事業(健康増進法に基づく事業)

40歳以上65歳未満の心身機能が低下している方を対象に、自宅に訪問し、運動指導や日常生活動作指導を行う事業であり、介護保険法や障害者総合支援法等で当該事業に相当するサービスを利用できる方は除外され、市が必要と判断した方が対象となる。

今年度は、生活習慣病健診の要指導者に対し、運動指導や動作指導を行った。

◆実績 2名の方へ 延べ3回

2)訪問型短期集中予防サービス

短期集中予防サービスの訪問型のうち、主に運動面に係る支援について委託を受け、地域包括支援センター等のケアマネジャーが作成するプランに基づき、1対象者当たり3ヵ月間で最大6回の支援を行う。リハビリ専門職の視点から、生活課題に対する評価や改善プログラムを計画し取り組みを支援した。

また、通所型サービス利用者は、訪問型を最大2回まで利用し、自宅での状況把握や指導を行うことで、生活課題の改善に向けた支援に繋げた。

◆実績

	件数	実利用者数
通所型併用	78件	62名
訪問型	72件	17名
計	150件	79名

通所型介護予防事業

1)健康倶楽部

65歳以上の市民を対象に、市政だよりで募集し抽選で決定した対象者に対して、運動器向上プログラムを中心とした一般介護予防事業「健康倶楽部」を行った。

自分の体重を活用した運動を主とする「スロートレーニング教室」、機器を使ったトレーニングで身体の動きやすさを改善する「パワリハトレーニング教室」の2種類の教室を広野地域福祉センター等の各会場にてそれぞれ20回を2クール又は4クール実施した。

◆スロートレーニング教室 実績

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
平盛デイホーム	20回	18名	289名	14.5名
東宇治コミセン	20回	19名	312名	15.6名
西小倉地福 A	20回	19名	334名	16.7名
西小倉地福 B	20回	20名	267名	13.4名
東宇治地福	20回	20名	325名	16.3名
リエゾン宇治おおくぼ	20回	19名	314名	15.7名
東宇治コミセン	20回	20名	339名	17.0名
うじ安心館	20回	20名	342名	17.1名
西小倉地福 A	20回	18名	303名	15.2名
西小倉地福 B	20回	20名	327名	16.4名
東宇治地福	20回	20名	325名	16.3名
リエゾン宇治おおくぼ	20回	13名	211名	10.6名
計	240回	226名	3,688名	15.4名

*地福:地域福祉センター *コミセン:コミュニティセンター

◆パワリハトレーニング教室 実績

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
A広野地福	80回	68名	1,106名	13.8名
B黄檗体育館	80回	46名	757名	9.5名
C広野地福	80回	64名	1,117名	14.0名
計	240回	178名	2,980名	12.4名

*地福:地域福祉センター

2)通所型短期集中予防サービス

短期間で集中的に心身機能の向上に取り組み、生活課題を改善し日常生活への定着を目標とするサービスとして、栄養・口腔ケアの内容を含む複合型のコースを2会場でそれぞれ週1回ずつ実施した。今年度は、会場を前年度の黄檗体育館から東宇治地域福祉センターに変更した。参加者は随時受け入れ、一人につき10回を1クールとし、各会場年間40回の予定で開催した。

地域包括支援センター等のケアマネジャーによるプランに基づき、通所前後を含む期間中の最大2回までの訪問型サービスを併用し、自宅での評価や指導を行った。

◆通所型短期集中予防サービス 実績

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
東宇治地福	40回	33名	236名	5.9名
広野地福	40回	25名	198名	5.0名
計	80回	58名	434名	5.4名

*地福:地域福祉センター

3)セルフパワリハ

65歳以上の利用希望者で、宇治市担当課で受け付け、登録された方が実施日に広野地域福祉センターへ来所してトレーニングを行う事業であり、利用者の自己管理・自主トレーニングを基本とし、機器操作や運動方法、安全管理等を専門職が指導した。

時間入れ替え制で人数を1単位16名×3単位を基本とし、16名を超えた場合は、回数を工夫する事で来所者全員がトレーニングに参加できるようにした。

今年度は、大雨警報による中止が1回あり、連絡と安全への対応を行った。

◆実績

会場	実施回数	新規 登録者数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
広野地福	90回	30名	3,520名	39.1名

*地福:地域福祉センター

*うち1回は中止対応、中止回数を除く平均参加者数は39.6名

4)認知症予防教室

65歳以上で認知機能の活性化に関心のある方に対して、市内の介護予防拠点施設を中心に市内8会場(4会場×2クール)で「あたマイキキ教室」を開催し、教室に継続的(週1回20回)に参加する中で、他者との交流を深めながら、脳活性化訓練等を行い、生活の活性化を図ることを目的として実施した。

前年度参加していない方を優先とし、会場ごとに安全に実施できる人数を設定して開催した。

◆実績

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
うじ安心館	20回	18名	338名	16.9名
小倉デイホーム	20回	19名	315名	15.8名
六地藏公会堂	20回	18名	297名	14.9名

平盛デイホーム	20回	15名	243名	12.2名
朝日プラザ	20回	18名	308名	15.4名
明星町集会所	20回	15名	261名	13.1名
西小倉地福	20回	18名	332名	16.6名
東宇治地福	20回	18名	321名	16.1名
計	160回	139名	2,415名	15.1名

＊地福：地域福祉センター

5)地域リハビリテーション活動支援事業(地域 de げんき講座)

地域で介護予防に取り組むグループの活動や自主グループの立ち上げを支援する目的で、リハビリテーション専門職等が地域の活動の場へ出向き、グループの要望に応じた講話や運動プログラムの体験を提供し、介護予防の啓発や身近な地域での健康維持・増進に役立てていただく事業を行った。

チラシの配布等案内し、半数が65歳以上で構成される10名以上の登録があるグループを対象とした。終了時には実施状況の振り返りや依頼団体の把握のためのアンケートも実施した。

◆実績

実団体数	33団体
実施回数	53回
延参加者数	796名

6)高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業(フレイル予防教室)

宇治市民中心の地域団体へ、栄養・口腔・運動3つの出前講座を行う事業で、運動講座を担当した。市が派遣を決定した介護予防に資する通いの場を運営する団体に、リハビリの専門職が出向き、体力測定や体操実技指導などを実施した。

◆実績

38団体、延べ参加者数511 名

地域包括支援センター運営事業

市からの受託事業として、市内3カ所(西宇治、東宇治南、中宇治)を拠点に、地域包括支援センターの運営事業を行った。

1)介護予防支援事業(事業対象者・要支援1・2の方の給付管理)

◆実績

		西宇治	東宇治南	中宇治	計	昨年度
予防給付年間 給付管理件数	直接	1,902件	2,273件	2,262件	6,437件	6,113件
	委託	1,386件	1,128件	1,273件	3,787件	3,486件
	計	3,288件	3,401件	3,535件	10,224件	9,599件
新規件数		111件	88件	126件	325件	311件

2)総合相談・権利擁護・包括的支援事業

◆実績

相談対応の内容等	西宇治	東宇治南	中宇治	計	昨年度
新規相談者数	718名	478名	499名	1,695名	1,633名
(再掲)独居・高齢者世帯	353名	295名	334名	982名	920名
(再掲)認知症・精神疾患	113名	130名	121名	364名	310名
相談延べ人数	3,754名	1,336名	1,766名	6,856名	7,010名
高齢者虐待に関すること(延べ)	136名	61名	43名	240名	366名
ケアマネ支援(実人数)	1名	11名	20名	32名	33名

3)小地域包括ケア会議開催

◆開催状況一覧

包括名	開催日	参加者数	テーマ
西宇治	5月20日	20名	民間企業・福祉関係団体を交えての、認知症の独居高齢者の孤独死について
東宇治南	10月18日	33名	広岡谷地域のネットワークづくりを目指して
	11月25日	13名	認知症高齢者の在宅での継続した生活の支援について
中宇治	4月30日	12名	“気になる”を“気にかける”大開地域に
	6月13日	9名	地域で見守られ、安心して生活を送れるよう支援を考える
	12月5日	16名	高齢者等が安心して暮らすことができる街づくりを行うために、現状を共有し取り組みにつなげよう！

4)脳活性化事業

地域において認知症の正しい理解を広げ、自主的に介護予防に取り組んでいただくために、認知症についての情報提供や、体操、レクリエーション等を行う教室を包括圏域ごとに実施した。

「レッツにしうじ」(西宇治圏域)

	会場	回数	参加人数
前期	西小倉地域福祉センター(火)	6回	99名
	西小倉地域福祉センター(金)	6回	105名
後期	西小倉地域福祉センター(火)	6回	100名
	西小倉地域福祉センター(金)	6回	95名
計		24回	399名

「あつまれ元気の森」(東宇治南圏域)

	会場	回数	参加人数
前期	東宇治地域福祉センター	6回	155名
	ユニ宇治川マンション集会所	6回	103名
後期	東宇治地域福祉センター	6回	145名
	ユニ宇治川マンション集会所	6回	160名
計		24回	563名

「おいでやす脳活道場」(中宇治圏域)

	会場	回数	参加人数
前期	宇治市福祉サービス公社中宇治事業所	6回	49名
	広野地域福祉センター	6回	81名
後期	宇治市福祉サービス公社中宇治事業所	6回	76名
	広野地域福祉センター	6回	51名
計		24回	257名

5)初期認知症総合相談支援事業

今年度より認知症コーディネーターが増員され、うち1名が西宇治地域包括支援センターに配置された。認知症になっても住み慣れた地域で生活が継続できるよう、専任の認知症コーディネーター3名(社会福祉士)と補助職員1名(看護師)を配置し、医療、福祉等とのネットワークを形成し、認知症の人や家族に対し、状況に応じた適切な支援を行うことと、初期認知症の特性に配慮して切れ目のない支援を提供するために、状況に応じた適切な医療、介護等との連携を図るとともに、必要となる社会資源等を構築することを目的に実施した。

① 認知症対応型カフェの企画・管理

宇治市全域の「れもんカフェ」を10回開催した。

中宇治地域包括支援センターの認知症コーディネーターが管轄する3圏域のカフェをそれぞれ 4回で計12回、西宇治圏域で9回とあわせて計21回（市全体では年51回）の「れもんカフェ」を開催した。

◆圏域カフェ 計 21 回

圏域名	開催場所	回数	参加者数
西宇治圏域	花おり・和みカフェ・西小倉地域福祉センター	9回	174名
東宇治南圏域	わに食堂・らくかふえ・熊小路集会所・宝善院	4回	79名
南部・三室戸圏域	明星集会所・三室戸北集会所・明星園特養・福角集会所	4回	36名
中宇治圏域	ぽっぽ中宇治・市役所8階・宇治教会・広野地福	4回	53名
計	15ヶ所	21回	342名

※参加者数にスタッフ、講師、演者は含めない

◆全域れもんカフェ 計10回

開催月	開催場所	開催内容	参加者数
5月	宇治市役所 8階コミュニティカフェ	令和6年度れもんカフェについての意見交換、交流	12名
6月	宇治市役所 8階コミュニティカフェ	① 令和6年度の認知症事業紹介 ② よし笛、ハーモニカ演奏	7名
7月	京都認知症総合センター 地域交流センター	① これからのれもんカフェについて ② ギター演奏	28名
8月	雨天中止		- 名
9月	東宇治地域福祉センター	① 認知症の人と家族の会 想いと活動 ② 箏演奏	25名
10月	京都認知症総合センター カフェほうおう	① なっちゃんファームについて ② でばしよ de れもんの珈琲道場コラボ	28名

11月	京都文教大学	ともいきフェスティバルで、でばしょ de れもん・京都文教大学平尾ゼミ生と「大学れもんカフェ」としてコラボ開催 ① でばしょ de れもん誕生までの流れ ② ギター演奏	27名
12月	京都翔英高等学校	① 認知症とともに生きる～私たちが伝えられること～ ② 京都翔英高等学校生徒によるレクリエーション	45名
1月	京都認知症総合センター 地域交流センター	① れもねいど〇×クイズ ② ギター、キーボード演奏	11名
2月	京都認知症総合センター カフェほうおう	① れもんパス更新計画 ② ギター演奏	27名
3月	京都認知症総合センター 地域交流センター	① 令和6年度認知症事業紹介 ② ギター、アコーディオン演奏	24名
計			234名

※参加者数にスタッフ、講師、演者は含めない。

※11月開催のカフェ参加者数は本人、家族のみ。

② 認知症初期集中支援チーム事業の実施及び事例検討会の開催

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の方やその家族に早期に関わるための「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的に実施した。

中宇治圏域は市内3圏域を対象として、各地域包括支援センター等との連携により15件、西宇治圏域は7件の計22件について、訪問調査と介護サービス導入や、医療受診などの必要な支援を行った。

◆チーム員会議

チーム員会議場所	会議開催数 (回)	会議ケース (件)	年度内終了件数 (件)	継続中 (件)
洛南病院	24	13	8	5
宇治おうばく病院	12	5	3	2
京都認知症総合センター	12	4	3	1
未実施	0	0	0	0
計	48	22	14	8

◆担当圏域との調整会議(事例検討会)

宇治市、地域包括支援センターと一緒に、初期集中支援チームのケースについて事例や傾向を共有し、意見交換をした。また、れもんカフェについても情報共有した。

開催日	内容	参加者数
11月6日	・認知症初期集中支援チームの運営について ・れもんカフェの運営について 初期集中支援チームについて、認知症コーディネーターから情報提供を行った。	・包括 12名 ・市 3名 ・認 CD 5名
2月12日	・認知症初期集中支援チームの運営について ・れもんカフェの運営について 事前に、地域包括支援センター職員にアンケートを取り、それに基づいて当日、各圏域が日頃どのように対応しているのかの意見交換を行った。	・包括 12名 ・市 2名 ・認 CD 5名

*認CD:認知症コーディネーター

③ れもねいだー養成講座、れもねいだーステップアップ講座の開催

国が進めるチームオレンジの宇治市版である「チームれもん」の立ち上げに向けて、これまで「認知症を正しく理解するための連続講座」として開催していたものを、令和6年度は新規のれもねいだーを養成するための「れもねいだー養成講座」と、既にれもねいだーとして活動されている方を対象とした「れもねいだーステップアップ講座」として開催した。

◆【れもねいだー養成講座】

会場：うじ安心館3階ホール

受講者数：17 名 修了証発行者数：15名 新規れもねいだー登録者数：14名

[れもねいだー登録状況]登録者数：120名 ※活動辞退者を除く

開催日	内容	講師
12月10日	認知症あんしんサポーター養成講座	認知症コーディネーター 富澤 和矢
1月20日	認知症の医療とケア	府立洛南病院 医師 森 俊夫氏
2月4日	振り返りとこれからについて	宇治市福祉サービス公社 川北 雄一郎

◆【れもねいだーステップアップ講座】

会場：うじ安心館3階ホール

受講者数：17名 修了証発行者数 14名

開催日	内容	講師
10月24日	開催概要説明、グループワーク	認知症コーディネーター 坂 千尋
11月25日	認知症の医療とケア	府立洛南病院 医師 森 俊夫氏
12月2日	振り返りとこれからについて	宇治市福祉サービス公社 川北 雄一郎

◆【れもねいだー研修会】受講者数：20名(現:14名・新:5名・予定1名)

開催日	会場	内容
2月27日	うじ安心館 3階大会議室	①「れもねいだーの活動とは 紹介とお願い」 ②「チームれもん立ち上げに向けての具体的なお話し」 ③ 個人ワーク、グループワーク

④ 認知症あんしんサポーター養成講座の開催及びキャラバン・メイト事務局運営

◆認知症あんしんサポーター養成講座

開催回数	受講者数
29 回	1,063 名

◆宇治市キャラバン・メイト事務局

事務局として、キャラバン・メイトのボランティア加入手続き及び年2回の新聞発行、年2回のフォローアップ研修を実施した。

開催日	会場	内容	講師	受講者数
9月6日	宇治市福祉サービス公社3階会議室	新テキストマニュアル配布、意見交換	坂 千尋	24名
2月12日	宇治市福祉サービス公社3階会議室	チームれもんについての説明、意見交換	坂 千尋	24名

⑤ 宇治市認知症家族支援プログラムの開催及び鈴の音会

◆宇治市認知症家族支援プログラム

会場：うじ安心館5階集団指導室、3階大会議室

開催日	内容・講師等	参加者数
9月8日	内容：つくろうネットワーク 講師：認知症の人と家族の会 京都府支部代表 河合 雅美 氏	5名
10月9日	内容：認知症の基本的な知識「学びましょう、認知症のこと」 講師：宇治おうばく病院 医師 樋川 毅先生	5名
11月8日	内容：サービスのいろいろ「上手に使うサービス利用」 講師：榎島地域包括支援センター 佐藤 佳久氏	5名
12月12日	内容：介護の仕方と介護者の心「見つめてみましょう、あなたの心」 講師：認知症の人と家族の会 京都府支部副代表 越野 稔氏	5名

1月10日	内容:「認知症の人との関わり方」 講師:小規模多機能ホームまごころ西宇治 大橋 一彦氏 グループホームまごころ西宇治 幡司 仁氏 グループホームまごころ大久保 玉村 耀士氏	5名
2月18日	内容:医師との関わり方、薬について「医師と上手に付き合おう」 講師:京都認知症総合センター 医師 川崎 照晃 先生	7名

◆鈴の音会

毎月第4金曜日に年12回(内10回は交流会、2回は研修会)開催した。

- ・研修会 開催回数:2回 参加実人数:16名 参加延べ人数: 17名
場所:第1回:京都認知症総合センターカフェほうおう
第2回:うじ安心館3階大会議室

開催日	内容	講師	受講者数
7月26日	医師と考える～認知症の診断後の介護について～	府立洛南病院 森 俊夫先生	11名
3月28日	介護者も介護される方も、知識と行動で生活が楽になる	宇治市福祉サービス公社 介護予防サポートセンター係 センター長 細川 佐理	5名

6)認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業

認知症になっても住み慣れた地域で生活が継続できるよう、専任の認知症コーディネーター2名(社会福祉士)と補助職員1名(看護師)を配置し、市が掲げる「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けて事業を実施した。認知症の本人・家族の声をもとに、ボランティア(れもねいだー)や企業(れもねいど加盟企業・団体)との協働により、事業に取り組んだ。

① 第11回認知症フォーラム in 宇治の開催

【テーマ】「認知症の人にやさしいまち・うじ宣言から10年～世代を超えて広がるれもねいどの輪～」

【開催日】 令和7年3月20日(祝) 11:00～16:00

【場 所】 宇治市生涯学習センター 第1ホール・第2ホール

【参加者】 157名

② 宇治市認知症アクションアライアンス「れもねいど」推進協議会の開催

宇治市認知症アクションアライアンス「れもねいど」の事務局として、認知症の本人とその家族、関係団体代表者等で構成された推進協議会を年2回開催した。

開催日	会場	内容
6月24日	うじ安心館 3階 ホール	今年度のれもねいど推進協議会について・令和5年度の事業報告・令和6年度の活動方針について 他
3月10日	うじ安心館 3階 ホール	下半期の活動報告及び今年度のまとめ・れもねいど加盟登録及びアクションについて・令和7年度宇治市初期認知症総合相談支援事業について・認知症フォーラムについて・意見交換・来年度の予定

③ すずなりれもんの会

れもねいど推進協議会から派生した、れもねいど加盟企業・団体、れもねいだー、認知症の本人・家族、専門職の交流の場として年2回開催。

開催日	会場	内容
10月7日	うじ安心館 3階 ホール	れもねいど加盟企業のれもねいどアクション報告、グループワーク 本人6名、家族4名、れもねいだー10名、れもねいど加盟企業 9名、スタッフ5名、オブザーバー6名
12月16日	宇治市役所 8階 大会議室	れもねいど加盟企業のれもねいどアクション報告、グループワーク 本人6名、家族5名、れもねいだー13名、れもねいど加盟企業 6名、スタッフ6名、オブザーバー5名

④ 京都文教大学グループミーティング

京都文教大学で当事者グループミーティングについては、全6回開催され参加した。また、11月に開催された「ともいきフェスティバル」では全域れもんカフェを認知症当事者、家族、学生の協力を得て大学内で開催した。

開催日	会場	内容
5月21日	京都文教大学	今年度取り組みたいこと
6月18日	京都文教大学	だれでも・どこでも
7月16日	京都文教大学	リンクワーカー
10月15日	京都文教大学	ともいきフェスティバルに向けて
11月19日	京都文教大学	第三の入口問題
1月14日	京都文教大学	今年度のれもねいど活動の評価

⑤ れもねいだー交流会及びれもねいど通信の発行

◆れもねいだー交流会

れもねいだーの交流と資質向上のため、交流会を開催した。

開催日	開催場所	内容	参加者数
7月18日	宇治市福祉サービス 公社3階会議室	れもねいだー活動の振り返り チームオレンジの活動を見据えて 意見交換	14名
10月25日	なっちゃんファーム	焼き芋大会	14名

◆れもねいど通信

「認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業」を中心に宇治市の認知症事業について広報するため、隔月で年5回通信を発行した。通信については公社ホームページや Facebook、LINE など
で発信した。

⑥ しごとれもん

認知症の本人の方の就労を目的として、れもねいど加盟登録団体とともに取り組んでいる活動。

◆茶摘み

10年目の取り組みとして実施。認知症の本人9名、家族9名、れもねいだー10名、スタッフその他58名の 計86名(延べ164名)が参加した。7日間で95.97kgの摘み高であった。

◆万願寺とうがらし収穫

8年目の取り組みとして実施。認知症の本人11名、家族7名、れもねいだー11名、スタッフその他28名の計57名が参加した。105kgの万願寺とうがらしを収穫し、れもねいど加盟登録企業・団体へ販売し、その一部を参加者に賃金として支払った。

◆こかぶ収穫

7年目の取り組みとして実施。認知症の本人11名、家族6名、れもねいだー12名、スタッフその他17名の 計 46名(延べ70名)が参加した。2日間で計746個のこかぶを収穫し、れもねいど加盟登録企業団体へ販売し、その一部を参加者に賃金として支払った。

宇治市地域福祉センター指定管理事業

指定管理者として、西小倉地域福祉センター、東宇治地域福祉センター、広野地域福祉センターの施設・設備にかかる管理運営を行った。

1) デイルーム等の利用状況

◆実績

	西小倉	東宇治	広野	合計	昨年度
	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	
男性	1,298名	180名	335名	1,813名	1,163名
女性	881名	730名	2,293名	3,904名	2,970名
計	2,179名	910名	2,628名	5,717名	4,133名

※西小倉事業所のデイルームについては、毎週木曜日の午前中に、住民主体型通いの場の運営に活用

2) 施設の利用状況

◆実績

利用区分	西小倉		東宇治		広野	
※()は広野での呼称	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
ボランティアルーム	481件	6,790名				
地域交流室(会議室)	472件	10,793名	556件	12,559名	426件	8,731名
研修室(介護者教育室)						
料理教室	180件	2,435名	131件	3,609名	38件	285名
計	1,133 件	20,018 名	687 件	16,168名	464 件	9,016名

生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーター業務)

1)宇治市全体に関わる業務(1層)

生活支援サービス等の担い手となるボランティアの養成等に関する業務(第1層)

◆宇治源輝人講座の実施(宇治市健康長寿サポーター養成講座入門編)

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域住民の暮らしを支えるボランティアとしてや新たに地域での活動に参加いただく担い手を養成することを目的に講座を開催した。

また、宇治源輝人(うじげんきびと)講座受講修了後、健康長寿サポーターに登録された方を対象に、健康長寿サポーターステップアップ講座を開催した。

開催日	会場	登録者数／受講者数
6月3日・5日	てくのハウス MAKINO	10名／18名
6月11日・13日	紫ヶ丘集会	3名／7名
9月17日・19日	宇治市役所 8階 大会議室	5名／12名
9月30日・10月4日	小倉公民館	10名／13名

内容

- ・「超高齢社会を元気に生きるヒント～アクティブなシニアライフを共に考えてみませんか?～」

講師: 宇治市福祉サービス公社事務局長 川北雄一郎(社会福祉士)

- ・「わがまちの地域活動を学ぼう～わたし、こんな活動で生きがいを見つけました!」

講師:健康長寿サポーター



【宇治源輝人講座の様子】

◆第1回宇治市健康長寿サポーターステップアップ講座(実践編)

宇治源輝人講座を受講し、健康長寿サポーターとして登録した方、既に健康長寿サポーターとして活動している方を対象に、住民主体型通所サービス及び生活支援サービスや各種団体活動等を立ち上げていくために必要なスキルを学ぶことを目的に開催した。

開催日	会場	参加者数	内容
6月27日	うじ安心館	23名	「バッククッキング 第2弾 ～防災時に役立つポリ袋調理～」 講師:生活支援コーディネーター 岡本千鶴
7月2日	生涯学習センター 第2ホール	29名	「自身の活動を発表しよう」 ・南京玉すだれ ・座ってできるフラダンス・介護予防運動 ・グランドゴルフ体験 ・楽しいマジック uji ・花植え
7月4日	生涯学習センター 第2ホール	23名	「リズムにのって体操」 講師:介護予防サポートセンター 高田治夫
7月12日	生涯学習センター 第2ホール	24名	「認知症は誰もが自分ごと！共に考えよう」 講師:宇治市認知症コーディネーター

◆第2回宇治市健康長寿サポーターステップアップ講座(実践編)

開催日	会場	参加者数	内 容
10月23日	生涯学習センター	20名	「相手の心に元気をとどける」 講師:傾聴ボランティア「かかし」
10月24日	宇治市役所 8階コミュニティカフェ	18名	「ほっこり、ひといき。おいしい珈琲の淹れ方」 講師:喫茶遊々スタッフ
10月29日	東宇治地域福祉センター	13名	「初めてだよ！健康麻雀」 講師:健康長寿サポーター
11月1日	うじ安心館	12名	「活動団体との出会いの場～マッチングサロン」 つどいのえまり(笑舞利)・通いの場陽だまり・母子草(ははこぐさ)・宇治ボランティア活動センター・槇島さろん連絡会・はにかむカフェ・宇治市シルバー人材センター・なっちゃんファーム・花おり(ちらしのみ)

◆住民主体型サポーター間の意見交流会

サポーター間の交流や情報交換を目的に通いの場・生活支援等のメンバーで運営上の課題等の情報交換や意見交換を実施した。

□通所型交流会

令和6年度 住民主体通所型サポーター交流会

- サポーター間の交流を通して情報交換を目的に、通いの場のメンバーで運営上の課題等の情報交換や意見交換を開催
- ・開催日:令和6年11月15日
- ・場 所:学研ココファン JR 宇治駅前
- ・参加者:13名
- ・内 容:任天堂スイッチで「e スポーツを楽しもう!」情報交換・交流など

□生活支援型交流会

令和6年度 住民主体生活支援型サポーター交流会

- サポーター間の交流を通して情報交換や仲間づくりを目的に開催
- ・開催日:令和6年12月6日
- ・場 所:宇治市役所 西館
- ・参加者:7名
- ・内 容:ごみ分別やリサイクルの大切さを伝える宇治市主催の出前講座

◆通いの場立ち上げ支援・運営支援

既に活動を行っている通いの場に対して、定期訪問により、運営に必要な情報提供や、体力測定の実施等を行った。

また、これから通いの場の立上げを目指す団体等に対して、地域での必要な資源の発掘・調査・地域でのお困り事などへの対応や、必要に応じて講師派遣などの調整を行った。

◆生活支援団体運営支援

訪問生活支援「母子草(ははこぐさ)」の役員会や定例会に毎月参加し、必要な情報提供や研修会での講師調整等を行った。

◆「第9回 宇治市健康長寿フェス2025～光輝く未来の自分へ～」の開催

開催日:令和7年2月24日(祝) 10:00～15:00
場 所:宇治市生涯学習センター
参加者数:300名(スタッフ・関係団体等含む)
内 容:京都府女性の船「ステップあけぼの」よさこい踊り・輝き世代音頭 みんなで歌おう!懐かしのフォークソングライブ ビデオ上映「健康の源は気の合う仲間と愉快的交流から」 宇治民話の会による紙芝居「空に舞った花嫁衣装」 小川先生と京都医健専門学校スポーツ科による「頭と体のイキイキ体操」 宇治市民による市民劇「あした輝く!」 他

2)日常生活圏域への取り組み(2層)

◆宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議(地域版)の業務

圏域単位の地域課題等を抽出し、整理、課題解決の取り組みとして、地域包括支援センターと連携して、地域の関係者との関係づくりを進めた。

【中宇治圏域】

団体名・地区	内 容
【中宇治圏域】 琵琶台まちづくり推進会議 G&B	【設立】令和3年9月設立 【構成】自治会、学区福祉委員、民生委員、社会福祉協議会、喜老会、子ども会、中宇治地域包括支援センター・宇治市 【目的】①琵琶台地区の高齢者が安心して暮らせる地域環境づくり ②一人暮らし高齢者や高齢世帯の日常生活の見守りや災害時の支援体制を構築 ③地域のネットワーク化 【開催回数】1回 【取組内容】子ども会とのラジオ体操、防災訓練、文化祭、防災講演会

【西宇治圏域】

団体名・地区	内 容
【西宇治圏域】 伊勢田ふれあいプロジェクト	【構成】伊勢田小学校、伊勢田小学校 PTA、子ども会連絡協議会、防犯推進委員会、伊勢田小学校安全管理委員会、青少年健全育成協議会、伊勢田地区民生・児童委員協議会、伊勢田喜老会、名木喜老会、サロン絆、ぬくもり伊勢田、伊勢田学区福祉委員会、伊勢田少年補導、伊勢田地区体育振興会、西宇治地域包括支援センター・社会福祉協議会・宇治市 【目的】各種団体を通して子どもたちの見守りや登下校の立ち合い等高齢者の新たな役割や各種団体との協働実践し、新たな支え合いの仕組みを検討 【取組内容】学校でのふれあいラジオ体操・登校時見守り活動

【西宇治圏域】 ちょっと出て いこうよ！ ふれあい プロジェクト	【構成】おぐらばんごはんの会(ローソン小倉堀池店オーナー)、宇治市社会福祉協議会・通いの場花おり・和みカフェ(喫茶店)、西小倉地区社会福祉協議会・西宇治地域包括支援センター・宇治市 【目的】子どもから高齢者まで集うイベントを企画し、地域福祉課題の整理 【取組内容】毎年3月頃に開催する西浦東町内会「安全・安心 IN フェス」に参加 地域包括支援センター等の相談コーナーやローソンの移動販売
【西宇治圏域】 にしおぐら de おさんぽラリー	地域の居場所づくりをしている各事業所の取り組みなどを知っていただく事を通して、地域のコミュニティでつながる喜びやその心の豊かさを築くことを目的としたイベントをスタンプラリー形式のイベントを開催 【構成】西小倉地区社会福祉協議会・福祉サービス公社西小倉事業所・西宇治地域包括支援センター・おぐらばんごはんの会・通いの場花おり・和みカフェ・放課後等デイサービス COCORO・宇治市 【開催日】11月24日(日) 【参加者】約250名
【西宇治圏域】 西浦東町内会・ 西浦東いこいの 会	身近な町内会の集会所で、高齢の会員同士が楽しい「安心できる生活の為・健康でいられる為」のお話を聞いたり、軽く体を動かしたりして時間を過ごして集まる場(65歳以上対象) 【構成】西浦東町内会(実行委員) 【開催回数】2ヶ月に1回(第4水曜日)程度の開催 【取組内容】1年に1回、西浦東「安全・安心」in フェスを開催(3月) 避難訓練・福祉相談コーナー・ローソン移動販売車・北宇治中学校吹奏楽部の演奏・防災訓練(西消防署指導)・縁日・喫茶コーナー・ゲーム大会など

乳児子育て世帯訪問支援事業

宇治市福祉こども部保健推進課の事業のうち、訪問による家事支援の事業を受託し、介護福祉士等資格を有するサポーターを派遣した。

◆実績

内訳	令和6年度	昨年度
実利用者数	35名	22名
延べ利用回数	147回	96回
延べ利用時間	251時間	165時間

子育て世帯支援事業(訪問型)

いわゆるヤングケアラーがいる世帯等に対して、介護福祉士等資格を有するサポーターを派遣し、家事支援を行った。

◆実績

内訳	令和6年度	昨年度
実利用者数	15名	4名
延べ利用回数	81回	27回
延べ利用時間	144時間25分	46時間

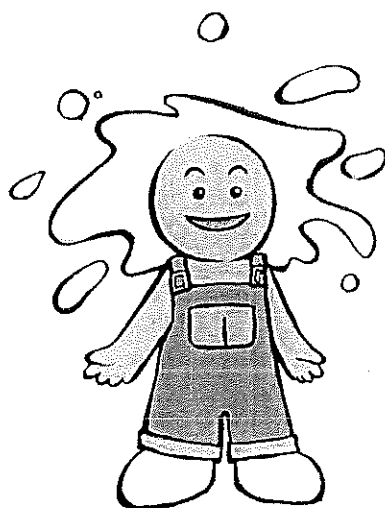
入門的研修事業

介護に関心を持つ市民等を対象に介護未経験の方向けの基本的な知識・スキルを身につけるための研修を開催し、公社職員が講師を務めた。

受講者:22名 修了者:18名 宇治市生活支援員研修受講者:0名

開催場所 中宇治事業所

開催日	テーマ
9月5日	①介護に関する基礎知識 ②介護の基本 ③基本的な介護の方法1
9月12日	①障がいの理解 ②認知症の理解
9月19日	①基本的な介護の方法2
9月26日	①基本的な介護の方法3 ②介護における安全確保



利用者とともに 市民とともに

理事会議案第 2 号
評議員会議案第 3 号

「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2024 年度（令和 6 年度）決算報告書」
について

一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2024 年度（令和 6 年度）収支決算を次のとおり報告する。

一般財団法人宇治市福祉サービス公社
理事長 塚 原 理 俊

令和 7 年 5 月 27 日 理事会 提出・可決
令和 7 年 6 月 20 日 定時評議員会 提出・可決

2024 年度（令和 6 年度）

決 算 報 告 書

（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）

一般財団法人 宇治市福祉サービス公社

貸借対照表

令和7年3月31日 現在

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	133,058,223	120,607,928	12,450,295
未収金	114,418,227	117,245,684	△ 2,827,457
前払金	341,807	0	341,807
立替金	17,127	4,830	12,297
貸倒引当金	△ 660,000	△ 660,000	0
流動資産合計	247,175,384	237,198,442	9,976,942
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
定期)京都銀行	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定財産			
公益目的特定資産	0	0	0
高齢者福祉事業基金	1,000,000	1,000,000	0
財務運営調整基金	20,000,000	10,000,000	10,000,000
特定資産合計	21,000,000	11,000,000	10,000,000
(3) その他固定資産			
建物	27,137,151	27,137,151	0
建物減価償却累計額	△ 11,825,868	△ 8,820,907	△ 3,004,961
建物付属設備	29,543,609	29,543,609	0
建物付属設備減価償却累計額	△ 17,721,638	△ 15,691,062	△ 2,030,576
什器備品	11,447,972	11,447,972	0
什器備品減価償却累計額	△ 10,239,390	△ 9,973,302	△ 266,088
車両運搬具	3,813,750	3,813,750	0
車両運搬具減価償却累計額	△ 3,813,748	△ 3,813,748	0
リース資産	32,694,540	41,202,060	△ 8,507,520
リース資産減価償却累計額	△ 26,475,030	△ 36,907,223	10,432,193
ソフトウェア	1,636,938	1,220,635	416,303
電話加入権	305,760	305,760	0
構築物	700,000	700,000	0
構築物減価償却累計額	△ 605,405	△ 573,801	△ 31,604
一括償却資産	0	325,921	△ 325,921
その他固定資産合計	36,598,641	39,916,815	△ 3,318,174
固定資産合計	67,598,641	60,916,815	6,681,826
資産合計	314,774,025	298,115,257	16,658,768

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	60,511,305	65,477,951	△ 4,966,646
預り金	5,026,368	9,500,981	△ 4,474,613
法人税等充当金	9,130,800	2,793,400	6,337,400
賞与引当金	31,126,000	30,191,000	935,000
流動負債合計	105,794,473	107,963,332	△ 2,168,859
2. 固定負債			
長期借入金	22,825,000	26,125,000	△ 3,300,000
リース債務	6,019,750	4,101,440	1,918,310
退職給付引当金	37,462,142	41,787,983	△ 4,325,841
固定負債合計	66,306,892	72,014,423	△ 5,707,531
負債合計	172,101,365	179,977,755	△ 7,876,390

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
Ⅲ. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当金)		0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	142,672,660	118,137,502	24,535,158
うち基本財産充当額(一般)	10,000,000	10,000,000	0
うち特定財産充当額(一般)	21,000,000	11,000,000	10,000,000
正味財産合計	142,672,660	118,137,502	24,535,158
負債及び正味財産合計	314,774,025	298,115,257	16,658,768

正味財産増減計算書

令和6年4月01日から

令和7年3月31日まで

全事業

(単位:円)

勘 定 科 目 名	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,506	1,000	2,506
基本財産受取利息	3,506	1,000	2,506
受取会費	364,000	358,000	6,000
賛助会員受取会費	364,000	358,000	6,000
事業収益	828,308,983	775,293,947	53,015,036
介護保険収益	402,160,749	386,317,597	15,843,152
介護予防収益	99,566,271	92,465,930	7,100,341
介護保険外収益	89,951,563	77,448,077	12,503,486
利用者負担金収益	59,369,123	55,708,985	3,660,138
福祉情報センター事業収益	927,500	947,380	△ 19,880
受託事業収益	176,333,777	162,405,978	13,927,799
受取補助金	2,244,548	3,497,000	△ 1,252,452
地方公共団体等補助金	2,244,548	3,497,000	△ 1,252,452
受取利息配当金収益	88,250	1,127	87,123
雑収益	4,235,402	3,983,855	251,547
経常収益計	835,244,689	783,134,929	52,109,760

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
(2)経常費用			
事業費			
役員報酬	0	0	0
給料手当	208,725,277	191,221,228	17,504,049
アルバイト賃金	225,311,018	213,210,712	12,100,306
職員賞与	57,743,517	53,860,959	3,882,558
退職金	3,194,400	3,511,080	△ 316,680
法定福利費	65,055,814	60,876,892	4,178,922
福利厚生費	2,710,188	2,511,588	198,600
給食材料費	12,528,934	11,053,323	1,475,611
会議費	0	0	0
旅費交通費	155,360	133,830	21,530
通信運搬費	5,913,928	5,503,066	410,862
消耗品費	6,532,339	6,287,434	244,905
修繕費	6,189,152	2,946,464	3,242,688
印刷製本費	494,066	420,275	73,791
燃料費	4,418,385	4,130,478	287,907
光熱水費	8,245,159	9,477,773	△ 1,232,614
支払助成金	0	0	0
賃借料	14,123,166	13,431,963	691,203
保険料	4,615,774	6,003,620	△ 1,387,846
諸謝金	1,992,647	1,983,090	9,557
租税公課	266,170	425,890	△ 159,720
支払負担金	519,530	615,199	△ 95,669
委託費	28,252,194	26,733,495	1,518,699
備品費	767,656	724,351	43,305
手数料	250,609	280,559	△ 29,950
使用料	1,937,576	1,764,813	172,763
広告料	0	32,054	△ 32,054
支払寄附金	0	0	0
雑費	5,740	2,117	3,623
貸倒損失	0	0	0
貸倒引当金繰入	0	0	0
建物減価償却費	0	0	0
建物附属減価償却費	0	0	0
構築物減価償却費	0	0	0
什器備品減価償却費	0	0	0
車両減価償却費	0	0	0
少額減価償却資産減価償却費	0	0	0
リース資産減価償却費	0	0	0
一括償却資産減価償却費	0	0	0
ソフトウェア減価償却費	0	0	0

勘 定 科 目 名	当年度	前年度	増減
管理費			
役員報酬	7,782,930	7,572,600	210,330
給料手当	31,887,688	35,202,341	△ 3,314,653
アルバイト賃金	5,050,068	4,598,016	452,052
職員賞与	11,542,532	13,342,684	△ 1,800,152
退職金	862,040	884,280	△ 22,240
法定福利費	9,070,338	9,924,234	△ 853,896
福利厚生費	1,745,650	1,466,133	279,517
委託人件費	5,500,000	5,500,000	0
給食材料費	0	0	0
会議費	29,200	42,783	△ 13,583
旅費交通費	67,770	39,610	28,160
通信運搬費	1,898,988	1,662,073	236,915
消耗品費	1,564,556	1,326,430	238,126
修繕費	816,317	858,133	△ 41,816
印刷製本費	385,071	411,051	△ 25,980
燃料費	174,116	166,021	8,095
光熱水費	16,421,219	19,353,800	△ 2,932,581
賃借料	4,338,942	4,225,474	113,468
保険料	450,884	498,397	△ 47,513
諸謝金	3,860,534	3,774,750	85,784
租税公課	5,227,624	6,244,900	△ 1,017,276
支払負担金	584,690	173,760	410,930
委託費	8,862,763	8,777,355	85,408
備品費	1,232,890	307,565	925,325
手数料	7,453,363	3,101,972	4,351,391
使用料	450,613	392,652	57,961
広告料	220,000	252,054	△ 32,054
支払寄附金	0	0	0
雑費	0	96,280	△ 96,280
貸倒損失	0	0	0
貸倒引当金繰入	0	0	0
支払利息	221,508	229,140	△ 7,632
法人税等	0	0	0
建物減価償却費	3,004,961	3,004,964	△ 3
建物附属減価償却費	2,030,576	2,052,509	△ 21,933
構築物減価償却費	31,604	31,604	0
什器備品減価償却費	266,088	803,593	△ 537,505
車両減価償却費	0	0	0
少額減価償却資産減価償却費	2,884,183	856,673	2,027,510
リース資産減価償却費	4,959,127	5,574,252	△ 615,125
一括償却資産減価償却費	325,921	325,919	2
ソフトウェア減価償却費	411,337	404,996	6,341
経常費用計	801,564,690	760,621,251	40,943,439
当期経常増減額	33,679,999	22,513,678	11,166,321

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
介護慰労金補助金収益	0	0	0
貸倒引当金戻入	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
固定資産圧縮損	0	0	0
介護慰労金費用	0	0	0
貸倒引当金繰入	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	33,679,999	22,513,678	11,166,321
法人税	9,144,841	2,793,719	6,351,122
当期一般正味財産増減額	24,535,158	19,719,959	4,815,199
一般正味財産期首残高	118,137,502	98,417,543	19,719,959
一般正味財産期末残高	142,672,660	118,137,502	24,535,158

II. 指定正味財産の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0

III. 正味財産期末残高	142,672,660	118,137,502	24,535,158
---------------	-------------	-------------	------------

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

この財務諸表は、「公益法人会計基準」(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物	平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、 平成19年4月1日以後に取得したものについては定額法によっている。
建物付属設備・構築物	平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定率法、 平成19年4月1日以後に取得したものについては定率法、 平成28年4月1日以後に取得したものについては定額法によっている。
その他の有形固定資産	平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定率法、 平成19年4月1日以後に取得したものについては定率法によっている。
所有権移転外ファイナンスリース取引に係るリース資産	リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
ソフトウェア	定額法

(2) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、未収入金の期末残高に法人税法の規定により計算した金額を貸倒引当金として計上している。

② 賞与引当金

職員の賞与の支給に備えるため、翌期の賞与支給予定額のうち当期に含まれる支給対象期間に対応する金額を賞与引当金として計上している。

③ 退職給付引当金

当公社は、平成16年5月より退職金制度を確定拠出型の中小企業退職金共済制度に移行した。ただし、従来の退職金制度により計算される退職一時金の額が中退共より支給される額を超える場合は不足額が当公社より補填される特約があるため、これに該当する職員については当期末要支給額から中退共よりの当期末支給額を控除した金額を退職給付引当金として計上している。

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
但し、リース契約1件当たりのリース料総額が300万以下の取引等については賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定財産の増減額及びその残高

基本財産及び特定財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定財産				
高齢者福祉事業基金	1,000,000	0	0	1,000,000
財政運営調整基金	10,000,000	10,000,000	0	20,000,000
小計	11,000,000	10,000,000	0	21,000,000
合計	21,000,000	10,000,000	0	31,000,000

3. 基本財産及び特定財産の財源等の内訳

基本財産及び特定財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
京都銀行 定期預金	10,000,000	0	(10,000,000)	0
小計	10,000,000	0	(10,000,000)	0
特定財産				
高齢者福祉事業基金	1,000,000	0	(1,000,000)	0
財政運営調整基金	20,000,000	0	(20,000,000)	0
小計	21,000,000	0	(21,000,000)	0
合計	31,000,000	0	(31,000,000)	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	27,137,151	11,825,868	15,311,283
建物附属設備	29,543,609	17,721,638	11,821,971
構築物	700,000	605,405	94,595
什器備品	11,447,972	10,239,390	1,208,582
車両運搬具	3,813,750	3,813,748	2
リース資産	32,694,540	26,475,030	6,219,510
ソフトウェア	27,136,070	25,499,132	1,636,938
合 計	132,473,092	96,180,211	36,292,881

注) 什器備品の取得価額は地方公共団体補助金による固定資産圧縮額6,287,366円を控除した後の金額である。

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	記載区分
処遇改善補助金	京都府	0	956,947	956,947	0	一般正味財産
処遇改善臨時特例交付金	京都府	0	366,617	366,617	0	一般正味財産
処遇改善加算支援補助金	京都府	0	204,984	204,984	0	一般正味財産
キャリアアップ助成金	京都労働局	0	600,000	600,000	0	一般正味財産
障がい者雇用調整金	京都労働局	0	116,000	116,000	0	一般正味財産
合 計		0	2,244,548	2,244,548	0	

6. その他

該当なし

貸借対照表に関する注記

実施事業資産は、次の通りである。

(単位：円)

項目	金額
実施事業資産	0

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に内容を記載しております。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	660,000	660,000	0	660,000	660,000
賞与引当金	30,191,000	31,126,000	30,191,000	0	31,126,000
退職給付引当金	41,787,983	0	4,325,841	0	37,462,142
小 計	72,638,983	31,786,000	34,516,841	660,000	69,248,142

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、立替金、仮払金、未払金、預り金、仮受金及び法人税等充当金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	120,607,928	133,058,223
未収金	117,245,684	114,418,227
前払金	0	341,807
立替金	4,830	17,127
合 計	237,858,442	247,835,384
未払金	65,477,951	60,511,305
預り金	9,500,981	5,026,368
仮受金	0	0
法人税等充当金	2,793,400	9,130,800
合 計	77,772,332	74,668,473
次期繰越収支差額	160,086,110	173,166,911

監 査 報 告 書

令和7年5月19日

一般財団法人宇治市福祉サービス公社
理事長 塚 原 理 俊 様

監事

池田正彦

監事

小林 幸大

私たち監事は、法令及び当公社定款の規定に基づき、一般財団法人宇治市福祉サービス公社(以下「当公社」という。)の2024年度(令和6年度)令和6年4月1日から令和7年3月31日までの監査を実施したので、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会に出席し、理事からその職務の執行状況についての報告を聴取し、また、当公社の事務所において、帳簿並びに重要な書類等を閲覧するとともに、事業報告等及び計算書類等を受領してその説明を受け、これらについての検討を行いました。

2. 監査の結果

(1)事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、当公社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2)計算書類及びその付属明細書の監査結果

- ① 計算書類及び付属明細書は当公社の財産及び損益の状況を適正に表示しているものと認めます。

以上